

## 令和4年12月市長定例記者会見

日 時：令和4年11月30日（水） 午後1時30分～

場 所：射水市役所会議室401

報道出席者：北日本新聞、富山新聞、北陸中日新聞、読売新聞、庄東タイムス

当局出席者：市長、企画管理部長、財務管理部長、企画管理部次長、  
未来創造課長、道路課長、地域福祉課長

### ○質疑応答の概要

Q1. 雪捨て場を4カ所から5カ所に増やしたのはなぜか。

A1. 昨年1月の大雪では、従来の雪捨て場では足りず、今後雪が多く降った場合にも対応できるようにするため増設した。また、市内の雪捨て場の立地を考えた際に雪捨て場まで距離があることもあり、今回クリーンピア射水に新設した。

Q2. 海王町の雪捨て場を移転したのはなぜか。

A2. これまで雪捨て場を設置していた市有地について、民間に利用提案を募集したところ、売却に至ったため。

Q3. 積雪センサーの台数や設置箇所に変更はあるか。

A3. 台数は変更なし。設置箇所については、道路監視カメラ2台は比較的交通量が多いところに変更した。1台は射水消防署の前、もう1台はサンコー大門口西側に設置した。積雪センサーについては、従来の設置場所だと車両等の影響によって正しい数値が得られない場所があったため、影響の少ない箇所に移動したものもある。台数については、今後の状況を注視しながら必要であれば追加等を検討していきたい。

Q4. 地域ぐるみ除排雪は昨年も行っていたか。

A4. これまでも行ってきた。

Q 5. 福祉窓口における AI を活用した相談支援について、県内の他の自治体も取り組んでいるか。

A 5. 県内の自治体については把握していないが、県外の自治体では様々な実証の取り組みをされていると聞いている。

Q 6. 相談支援専用の端末は何台用意されているか。

A 6. 3台。

Q 7. 端末と一緒にマイクが設置されるようだが、マイクを置いたまま相談を受けるのか。

A 7. マイクを置いたまま相談を受ける。音声情報をテキスト化するもので、相談記録を作成するため録音するケースもあり、相談者の方に断りを入れた上で録音させていただく。

Q 8. 実証期間後は、本格的に導入することを見据えているか。

A 8. 実証期間に効果を確認し、新年度からの本格導入に向けて取り組んでいきたいと考えている。

Q 8. 本格導入にあたって、窓口相談以外の導入場所は増えるか。

A 8. 導入場所を増やすには、AI に学習させる期間や情報が必要になると思っている。活用できる場合には活用していきたい。

Q 9. こども学芸員講座について、使用する土器は本物の土器か。

A 9. はい。

Q 10. 講座は子どもが対応できるようなレベルか。

A 10. 指導やアドバイスをしながら体験していただきたいと思っている。

Q 1 1. 鳥インフルエンザについて、見解をお聞きしたい。

A 1 1. 現在、野鳥の監視を強化している。本市の対応としては、この事案を市ホームページに掲載しており、死亡野鳥を発見した際の留意事項について次のとおり周知している。

- ・鳥インフルエンザウイルスは、感染した鳥との濃密な接触等があった場合を除いて、人には感染しないと考えられています。日常生活においては、鳥の排泄物等に触れた後には手洗いとうがいをしていただければ、過度に心配する必要はありませんので、周辺地域のみならず市民の皆様におかれては、冷静な行動をお願いします。
- ・同じ場所でたくさんの野鳥などが死亡している場合には、射水市農林水産課まで連絡をお願いいたします。死亡した野鳥など野生動物の死亡個体を片付ける際には、素手で直接接触らず、使い捨て手袋等を使用してください。
- ・野鳥の糞が靴の裏や車両に付くことにより、鳥インフルエンザウイルスが他の地域へ運ばれるおそれがありますので、野鳥に近づきすぎないようにしてください。特に、靴で糞を踏まないよう十分注意して、必要に応じて消毒を行ってください。
- ・不必要に野鳥を追い立てたり、つかまえようとしたりするのは避けてください。

現在、環境省が遺伝子検査を実施している。県から詳細について発表されると思うが、追加対応が必要であれば市ホームページで随時周知していきたい。

Q 1 2. 学校給食について、黙食じゃなくてもよいのではという声があるが、射水市内の学校における方向性としてはどうか。

A 1 2. これまでの対応としては黙食を実施している。国の指導通知を受け、市としても学校医と相談し、医学的な見地を参考にさせてもらいながら、判断していきたいと考えている。

Q 1 3. 電力の大幅な値上げが発表されている。射水市では公共施設におけるバイオマス発電の地産地消という取組があるが、電力の大幅な値上げに影響される仕組みかどうかお伺いしたい。

A 1 3. 詳細な仕組みについては改めて確認したい。ただ、実際に電気料金や燃料高の影響もあり、当初予算を上回る部分について、今回 12 月定例会における補正予算で約 1 億円増額の提案をする予定になっている。今後も電気料金の値上げ等影響が大きくなってくると思われるが、必要な対策・支援を適切に行っていきたい。

Q 1 4. 補正予算において 1 億円の増額提案というのは、38 か所の公共施設におけるバイオマス発電の地産地消という取組の導入によって、当初予算より電気料金が嵩んでいるということか。

A 1 4. 38 か所の公共施設に限らず、市が保有している様々な施設において、燃料を含む料金が当初予算に設定していた額を上回るということである。

Q 1 5. 福祉窓口における AI を活用した相談支援は、窓口に来られた人向けのものか。

A 1 5. 職員が窓口にて対応する際に使用するものであり、確認事項に漏れがないようにしたり、アドバイスや必要なサポートの提案に生かしたりしていくための支援ツールである。

Q 1 6. 市内には石畑池等、鳥が観察される地域があるが、そのような地域には「近寄らないように」と指示をするのか。

A 1 5. 留意事項にもあるように、鳥インフルエンザウイルスは、感染した鳥との濃密な接触等があった場合を除いて、人には感染しないと考えられており、冷静な行動をしていただけたらと思っている。鳥の糞等から感染エリアが広がる恐れがあるということで、「近づくな」というより「近づきすぎないこと」を注意喚起としてお伝えしているところである。